

湛水土中(カルパー)直播栽培特報 第3号

令和2年6月
富山市農業協同組合
富山農林振センター

～ J A 富山市米品質向上生産運動展開中～

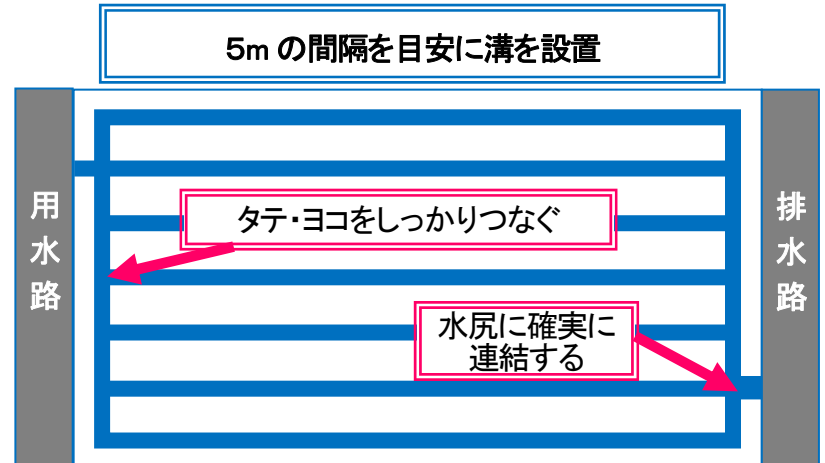
- ・ 本年は、播種時から天候に恵まれたため概ね苗立は良好で、その後も順調に生育しています。
- ・ 今後、茎数は急激に増加することが予想されます。早急に『溝掘り』を行いましょ。また、『中干し』は遅れずに実施し、稲体および根の健全化を図りましょ。

溝掘り

- 中干しに入る前に必ず溝掘りを行い、ほ場への入排水の効率を高めましょ。(6月上旬までに設置)

<溝掘りのポイント>

- ・ 形が崩れないよう軽く田干しを行い、泥を固めた後、5m(15～17条)に1本の間隔を目安に溝を掘る。
- ・ 溝と水尻は確実に連結する。
- ・ 水の切れないほ場では設置本数を増やす。



中干し

- 直播は移植に比べ分けつが発生しやすいので、遅れず実施ましょ。
- 中干しの開始時期は、1m間の茎数が100本程度になった頃(6月上旬～中旬)です。
- 中干し後から幼穂形成期までは、湛水と落水を繰り返す間断かん水を行いましょ。

病虫害防除

- 葉いもちの発生を防止するため、予防粒剤を散布ましょ。

散布時期	薬剤名	10a 当たり使用量	備考
6月15日頃	オリゼメート1キログラム粒剤	1kg	湛水状態(水深3～5cm)で散布し、散布後7日間は湛水状態を保ち、田面を露出させず、落水およびかけ流しをしない。

- 今年もカメムシ類の多発が懸念されます。畦畔や雑草地での増殖を抑えるため、草刈りを徹底ましょ。

雑草防除

- 藻や表層はく離が発生しているほ場では、水の入れ換えを行いましょ。
- 雑草が残った場合は、下表を参考にしながら、草種に応じて除草剤を施用ましょ。

雑草の種類	使用除草剤	10a 当たり使用量	使用時期	本剤使用回数	使用上の注意
ノビエのみ	トドメ MF 1キログラム粒剤	1kg	イネ3.5葉期～ノビエ4葉期(但し収穫50日前まで)	3回以内	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。
	クリンチャーEW	1000ml(希釈水量:25～1000)	播種後10日～ノビエ5葉期(但し収穫30日前まで)	2回以内	ノビエの茎葉部に薬剤が付着するように散布する。展着剤を加用する。
ノビエと広葉雑草	クリンチャーバス ME 液剤	1,000ml(希釈水量:70～1000)	播種後10日～ノビエ5葉期(但し収穫50日前まで)	2回以内	落水状態で晴天日を選んで散布し、その後3～4日間は入水・落水をしない。展着剤は加用しない。
	ワイドアタック SC	1000ml(希釈水量:1000)	イネ3葉期～ノビエ5葉期(但し収穫30日前まで)	2回以内	落水状態で散布し、その後3～4日間は入水・落水をしない。展着剤は加用しない。
広葉雑草のみ	バサグラン粒剤	3kg	イネ3葉期～入水50日後(但し収穫60日前まで)	1回	雑草が露出する程度の浅水状態で、晴天日を選んで散布し、散布後3～4日間は入水・落水しない。
	バサグラン液剤	500～700ml(希釈水量:70～1000)	播種後35～50日(但し収穫50日前まで)	2回以内	落水して雑草が露出する状態で、晴天日を選んで散布し、散布後3～4日間は入水・落水しない。

令和2年度 富山県農薬危害防止運動(6/15～9/14) ～農薬は周りに配慮し正しく使用～